

賢材研究会 2020 年度活動報告
(2021-3-12)

昨年に引き続き、カーボンマイクロコイル(CMC)入りの CMC 新商品の開発、特性評価、CMC 波動共振センサーの応用研究などを行った。概要は以下の通りです。

1) 電磁波障害防御用 CMC 商品の開発

- (例) • 軽量(Al 製)で CMC 充填量の多い CMC 入りペンダント
• CMC 充填の多い携行用 CMC ロッド
• 小型で携行可能な CMC スタビライザー
• ハイブリッド車用 CMC スタビライザー

2) 電磁波ストレスの評価法の確立

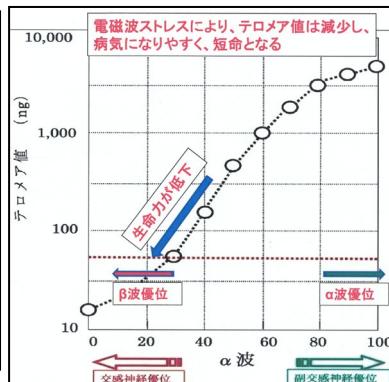
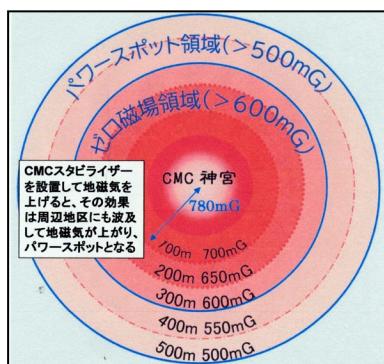
- 脳波(α 波)
- 8-OH-dG(最も鋭敏な電磁波ストレスマーカー)
- テロメア(生命力の指標)

3) 地磁気の低いケガレチの地磁気の高いイヤシロチへの転換について

4) CMC を用いた水の活性化法について

5) CMC 波動共振センサーを用いた遠隔波動共振法による情報収集について

6) 新型コロナウイルス感染症の遠隔診断法について



新型コロナ感染症/新型コロナ肺炎 (COVID19) 波動診断指標

(住所・氏名)

新型コロナ感染症/新型コロナ肺炎 (COVID19) 波動診断指標						
	α 波(%)	Hg(mg)	NK 細胞(g)	フェリチン	抗体価	SpO ₂ (%)
正常者	100	0	1	<250 ng/mL		~98
感染者 (電磁波ストレスあり)	0	>0	<0.001 (免疫力低下)	>250ng/mL	低下 (呼吸不全)	<95



波動共振の有無 (新型コロナウイルス)

有 無 有 無 有 無

(変異ウイルス)

有 無

(株) CMC 総合研究所
元島栖二

	CMC量(g)	α波(%)
パワーコンディ	0	0
ショナー	0.5	85
	5	100
スマートメーター	0	0
	0.5	85
	5	100
Wi-Fi	0	0
	0.5	85
	5	100
5G	0	0
	0.5	85
	5	100
リニア新幹線	0.5	100

	CMC量(g)	α波(%)
(ハイブリッド車)	0	0
	0.5	55
普通車(50kWh)	10	80
	15	100
	0	0
	0.5	30
中型車(70kWh)	20	80
	25	100
(電気自動車)	0	0
小型(16kWh)	0.5	55
	10	80
	15	100
普通車(40kWh)	15	80
	20	100
大型車(130kWh)	20	80
	30	100

8-OH-dG (8-hydroxy-2'-deoxyquanosine):

エネルギー代謝、紫外線、電離放射線、電磁波などにより発生する活性酸素種によってDNAが損傷されることによって生成される物質である。(dG: deoxyquanosine)は、DNAを構成する塩基の一つで、8位の炭素が酸化されて生成する。4種の塩基の中で最も活性酸素種による酸化を受けやすいので、最も広く用いられ酸化ストレスマーカーについてある)

- DNA損傷マーカー
- 酸化ストレスマーカー
- 電磁波ストレスマーカー

